

# 低損失シミュレーション電子負荷



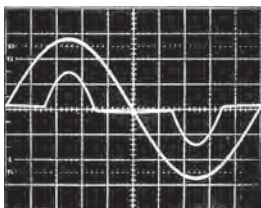
交流電源や電力機器の負荷試験で使用していた抵抗やインダクタ、キャパシタ、擬似回路網などに代わる電子負荷装置です。「電力回生回路」と「スイッチング方式の電力増幅器」を採用し、システムの試験電力と発熱量を大幅に低減できます。

本器は、UPS 負荷試験やインバータ負荷試験に最適です。

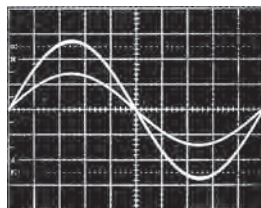
## 特長

- 抵抗モード、定電流モードの二つの動作モード
- 電流波形を任意に設定して高調波電流などの非線形負荷をシミュレート
- 電流の位相設定が可能
- 交流、直流で動作
- 電力回生で消費エネルギーを低減
- マスタ・スレーブ動作により三相接続（△結線、Y結線）が可能
- 最大4台までのブースタの接続が可能
- 外部インターフェースにより試験の自動化に対応

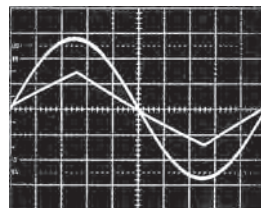
## 波形例



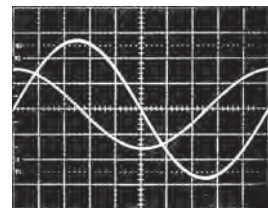
▲任意波形（コンデンサ入力整流波形）



▲正弦波 位相0度



▲三角波



▲正弦波 位相90度（進み）

## 定 格

### 負荷部

電圧レンジ	100V/200V
最大入力電圧	150Vrms/300Vrms ±212V/±424V
最大入力電流	20Arms/10Arms (40Hz~100Hz、電圧・電流の位相差は±90度以内) ±9.0A/±4.5A (DC)
入力電力	2kVA

### 負荷特性

#### ▶ 抵抗モード

設定抵抗値	0.1~400Ω/0.2~800Ω 最大入力電流以内
分解能	0.1Ω/0.2Ω

#### ▶ 定電流交流モード (内部同期発振器使用)

設定電流範囲	44Apk/22Apk (任意波) 20Arms/10Arms (正弦波)
設定分解能	0.1A
位相	-90度(遅れ)~0~+90度(進み) (20~300Hz)
力率設定	-0~1~+0 (20~300Hz) 正弦波のみ
波形	正弦波、三角波、方形波、任意波(外部より設定)

#### ▶ 定電流直流モード

設定電流範囲	+9.0A/+4.5A (DC)
設定分解能	0.1A
重畳交流	設定ピーク値は直流設定電流値以下
波形	正弦波、三角波、方形波、任意波(外部より設定)

### 計測表示

電圧	480V F.S.
電流	50A F.S.

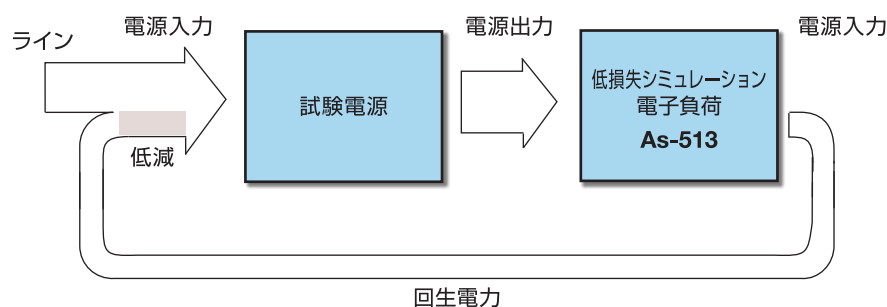
### インタフェース・その他機能

外部インタフェース	GPIO, RS232C
ブースタ	4台まで増設可能 (単相 10kVA, 三相 30kVA まで)

### 一般事項

電源入力	100V/200V レンジ 90~132V/180~250V 48~62Hz
消費電力	600VA 電源入力から受け取る電力 (定格時約 1200VA の電力が回生)
回生方式	電流制御形 (回生電流を電源入力電圧と同位相に制御)

As-513の電源入力を試験電源と同じ電源ラインに接続することにより、As-513で受けた電力の一部を試験電源の電源入力に戻します。これにより試験設備全体の消費電力を低減し、省エネルギーな試験ができます。



<http://www.nfcorp.co.jp/>